

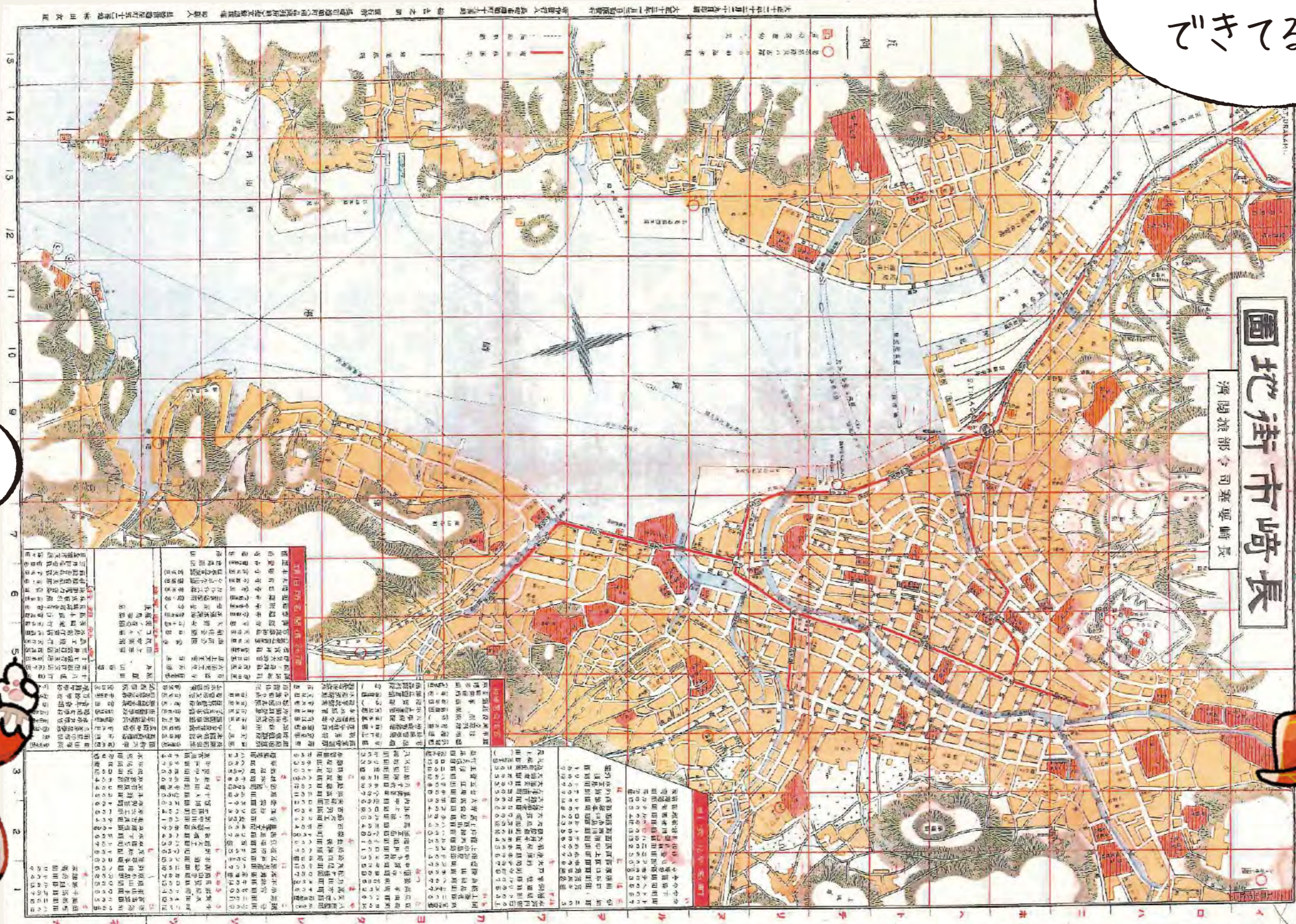
# ⑦近代化される長崎港



長崎港全圖(長崎歴史文化博物館蔵)

明治時代になると、長崎港を近代化する必要が出てきました。特に中島川などから大量の土砂が流れ出るため港が浅くなり、船の航行を妨げるようになりました。

そこで土砂の対策として、1889(明治22)年、それまで銅座町の方に向かって、真っ直ぐ流れていた中島川を、今の様に出島の方に大きく曲がるように変えました。



長崎市街地図(大正12年版)(長崎文献社蔵)

出島の南側が陸地になってるにや!



にやんと!長崎駅ができてるにや!

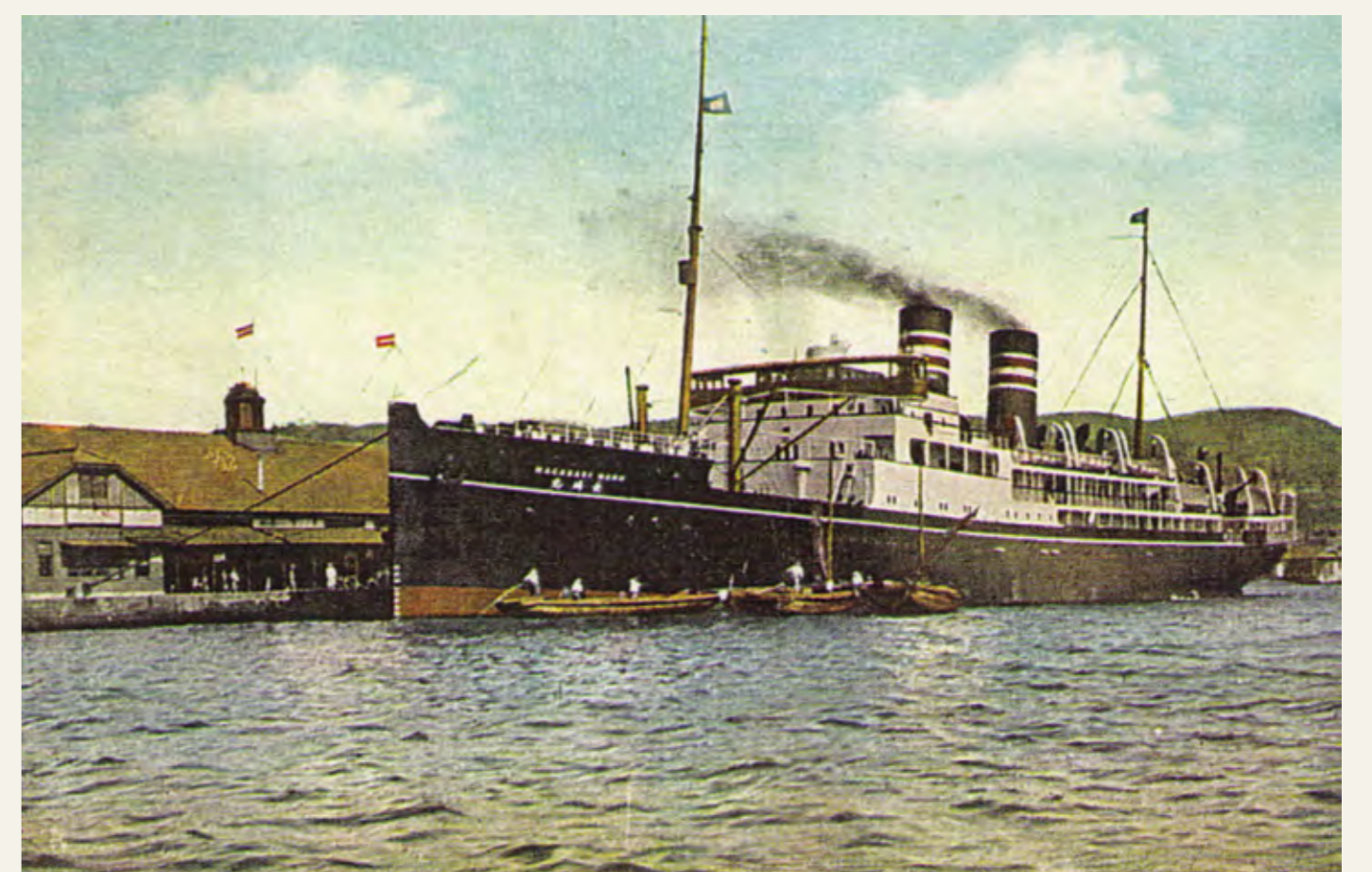


中島川の流れが変わってるにや!



次に出島の南側一帯、大波止から大黒町一帯の海岸、浦上川の河口、稲佐地区などの海を埋立てました。1904(明治37)年に工事は完了し、港を取り囲んで新しい町や道路が生まれ、港の様子はすっかり変わってしまいました。出島も完全に陸続きとなりました。また鉄道が今の浦上駅から延長されて、新しく長崎駅が今の場所に建てられました。

さらに1924(大正13)年出島岸壁が完成し、ようやく大型の船が直接着けられるようになり、大型船の航行が盛んになりました。



出島岸壁に停留中の日華連絡船長崎丸昭和初期(個人蔵)

**豆知識** すでに前年には、長崎と上海間の定期航路が開かれていました。この航路には「長崎丸」と「上海丸」が就航し、多くの人や貨物を運びました。運賃は当時のお金で18円(3等)、上海に行くのにパスポートも要らなかったのが長崎市民にも好評で、上海航路の名前で親しまれました。



ひと眠り出来るにや!

## クイズ 7

長崎から上海までは何時間かかったでしょうか?

- ①約2日(50時間)
- ②約1日半(38時間)
- ③約1日(26時間)

《クイズの答え》 7.③約1日(26時間)